

NEWS

令和5年度
災害廃棄物情報伝達訓練・仮置場図上訓練

- ・日 時：令和5年9月25日（月）
- ・場 所：豊橋市役所東館13階講堂
（豊橋市今橋町）

豊橋市の要請を受け、（一社）愛知県産業資源循環協会（以下「愛産協」という。）「災害対策本部」、愛産協「災害廃棄物処理対策に関する特別委員会」、及び愛産協東三河支部（鬼頭秀幸支部長）は、豊橋市環境部廃棄物対策課との連携の下、本年1月25日に続き2回目の訓練を実施しました。

■情報伝達訓練・午前9時～

9：00 【豊橋市廃棄物班】

訓練メールを愛産協災害対策本部（以下「災害本部」という。）に送付

9：05 【災害本部】

訓練メール受信確認 Safetylink24「緊急通報システム」にて東三河支部会員企業に連絡

9：10 【東三河支部の豊橋市内の会員企業】

会員企業はSafetylink24を用いて質問内容の回答を送信

9：35 【災害本部】

9：30時点で集まった回答を取りまとめ廃棄物対策課へメール連絡

10：05 【災害本部】

10：00時点で集まった回答を取りまとめ廃棄物対策課へメール連絡

10：10 【豊橋市廃棄物班】

回答を確認し、豊橋市災害対策本部へ産業廃棄物処理業者の被害情報を報告

10：15 【豊橋市廃棄物班】

訓練終了後、参加者に対して情報伝達訓練のアンケートメールを送付

■訓練メール

〈タイトル〉

大規模災害発生に伴う産業廃棄物処理業の被害状況の確認について（依頼）

〈本文〉

豊橋市災害対策本部生活基盤対策部廃棄物班です。令和5年9月25日（月）午前7時頃に豊橋市で記録的な豪雨が発生し、柳生川及び梅田川の氾濫が起きました。産業廃棄物処理業者の被害状況を確認するため、身の安全を最優先に確保し、以下の内容について回答をお願いします。なお、東三河支部にて会員企業の回答を取りまとめでいただき、結果について豊橋市災害対策本部生活基盤対策部廃棄物班にご連絡をお願いいたします。

1. 豊橋市内廃棄物処理業者の被害状況（人員、施設、車両等）
2. 施設、車両等の稼働状況（被害があった場合は、復旧の見込みについて）

■仮置場図上訓練・午後2時30分～

・内容

仮置場開設準備として、搬入搬出の動線や災害廃棄物の分別区分等を把握するため、図上訓練を行う。訓練の中で提案された配置図を用い、マニュアルの見直しを検討する。

・講師

名古屋大学減災連携研究センター
准教授 平山修久氏

・監修

国立環境研究所資源循環領域主任研究員
多島 良氏

・参加者

愛産協東三河支部、愛産協災害廃棄物処理対策特

NEWS

別委員会、豊橋市一般廃棄物処理事業協同組合、東三河廃棄物処理事業協同組合、(株)ミダック、環境省中部地方環境事務所資源循環課、愛知県環境局資源循環推進課、名古屋市環境局事業部作業課・施設部工場課、豊田市環境部循環型社会推進課・廃棄物対策課、岡崎市環境部廃棄物対策課、一宮市環境部施設管理課、豊明市経済建設部環境課、豊川市産業環境部清掃事業課、豊橋市環境部環境部ゼロカーボンシティ推進課・埋立処理課・収集業務課・環境保全課・資源化センター

仮置場図上訓練は、始めに豊橋市環境部廃棄物対策課長 伊藤訓子氏の開会挨拶に続いて、協力機関を代表して(一社)愛知県産業資源循環協会専務理事 堀部隆司氏が挨拶を述べました。その後、「災害廃棄物の基礎知識」と題して、平山准教授の講演が行われました。

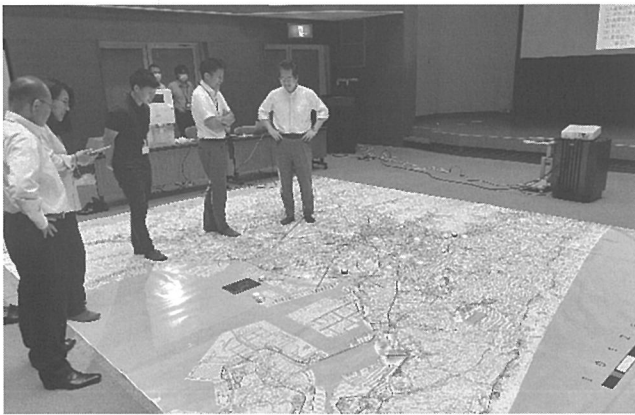
講演は、プロジェクトンマッピングを用いた豊橋市内の災害廃棄物の可視化や仮置場候補地の場

所について参加者の理解を深めていただきました。

続いて、「豊川市における仮置場の運営実務」と題して、愛産協災害廃棄物処理対策特別委員会 入野智樹氏(所属:(株)ダイセキ環境ソリューション)から、令和5年6月2日大雨による災害で、豊川市において仮置場を2か所設置し、その管理運営を愛産協と豊川市との協定に基づき実施した経験について講演がありました。

仮置場図上演習は、1グループ5人程度として6グループに分かれ、仮置場候補地である豊橋市総合スポーツ公園を例に仮置場のレイアウトや搬出入経路を各グループで考えました。レイアウトについては、各グループで模造紙に書き込み、最終的にはグループの代表者が参加者全員に向けて3分程度発表を行いました。

なお、豊川市が参加する1グループにおいては、仮置場候補地を豊川市三月田最終処分場として検討を行いました。



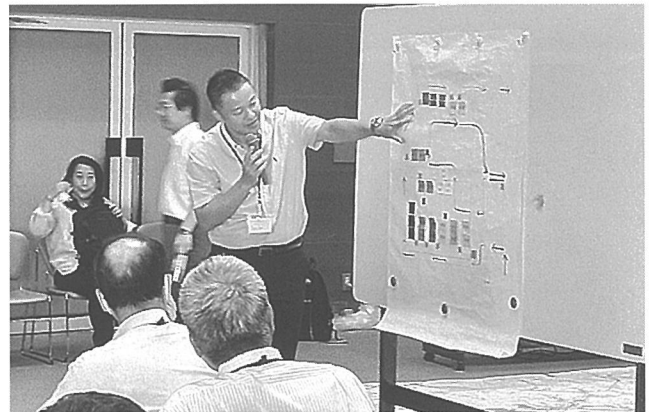
プロジェクトンマッピングで理解を深める



グループ演習



グループ演習



グループ代表の発表